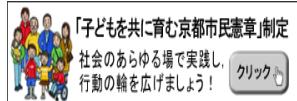




学校評価号

平成 29 年 10 月 16 日
校 長 狩 野 茂京都市立七条小学校 TEL 313-0077 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shitijo-s/>

学校教育目標

人として豊かに生きるために、
自ら考え行動する子を育てる

平成29年度 第1回学校評価から

今年度の第一回目の学校評価を7月に行いました。多数の回答を保護者の皆様からいただき、ありがとうございます。アンケートの結果について考察し、学校運営協議会理事会及び学校評価委員会で分析をし、今後の取組について話し合いましたので報告します。

児童アンケートより

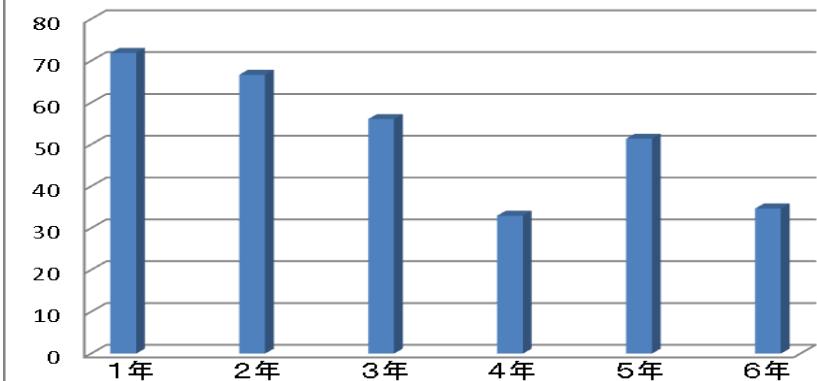
●確かな学力について

- ・学校の勉強は、よくわかり、楽しいですか。

七条小学校では、理科・生活科・生活単元学習を中心に戸題解決学習を研究として取り組んでいます。子どもたちが主体的に、積極的に学習に取り組むことができる授業、子どもたちが「わかる」「できる」と感じる授業を目指しています。

「学校の授業は、よくわかり、楽しいですか。」の項目に対して、「よくできている」「だいたいできている」と回答した児童は、93.3%と高い割合を示しています。多くの児童が学校の授業を前向きにとらえていることがわかります。しかし、これを学年別に見てみると、「よくできている」と回答した割合は、学年が上がるにつれて、割合が低くなる傾向にあります。

「学校の授業は、よくわかり、たのしいですか。
(「よくできている」の回答割合)



学習内容がだんだん難しくなることは確かですが、「わかる」「できる」と感じられにくい授業になっていることも真摯に受け止めていかなくてはならないと考えています。知識の覚え込みのような授業は楽しくありませんし、問題を解決できないのも楽しくありません。より「わかる」「できる」授業を目指して、日々の授業の改善に取り組んでいきます。

●豊かな心について

- ・よいこと、悪いことを考えて、行動していますか。

本校の学校教育目標「人として豊かに生きるために、自ら考え行動する子を育てる」の「自ら考え行動する」を大切に考え、学校での取組を進めています。人の言うことをよく聞き、その通りに行動できることも大変大事なことであり、大切な資質であります。自分の行動についてよく考え、自分の行動に責任をもつことも必要です。それぞれの学年の児童に合った「自ら考え行動する」ということも大事な資質として子どもたちを育てていかなければなりません。

「よいこと・悪いことを考えて、行動していますか。」の項目に対して、「よくしている」「だいたいしている」と回答した児童の割合は、88.7%と概ねよい数値を表しています。しかし、「よくしている」と回答した割合は46.7%と高くなかった数値を表しています。自信をもって「行動している」と答えられる子どもを育てるため、学校では道徳を中心とした学習や学校生活を通して、家庭では様々な生活場面の中で、子どもに善悪について教え、考えて行動することの大切さを伝えていかなくてはなりません。そのためには『七条中エリア「大人の本気』』に示していますように、大人自身が正しい行動をする意識を高くもつことが必要です。

どれくらいしていますか			
よくしている	だいたいしている	あまりしていない	していない
よいこと・悪いことを考えて、行動していますか。	46.7%	42.0%	8.0%
自分の好きなところはありますか。	48.7%	25.8%	18.6%

- ・自分の好きなところはありますか。

「自分の好きなところはありますか。」という項目に「あまりしていない」「していない」と回答した児童の割合は、25.6%と否定的な回答の割合が高くなっています。自分のことを謙遜してこのように答えていていることも考えられますが、自分の好きなところに自信がないのは、自己肯定感や自己有用感の高さと関係があると考えられます。子どもたち一人一人が自己肯定感をもち、自信をもっていろいろなことにチャレンジできるように、子どもたちの長所・よいところを伝えたり、認めたりする必要があるのではないかと思います。学校では、今後も、係活動や委員会活動、たてわり活動などで自己有用感をもてるよう取組を進めています。

●健やかな体について

- ・外で元気に遊んでいますか。

日頃の運動場などの様子を見ても、七条小学校の子どもたちはよく遊んでいます。今年度は、教職員による遊びの紹介や、逆上がり補助器の設置、ライトドッジボールの配布など、子どもたちが「遊びたい」と思える環境づくりに取り組んでいます。今後も外に出て遊びたくなる環境づくりに取り組んでいきます。また、遊びや運動の中で起きる事故やケガに対して、事故やケガが起きるから禁止にするのではなく、安全に十分気を付けながら遊びに取り組めるよう、安全指導を継続して行います。

どれくらいしているか			
よくしている	だいたいしている	あまりしていない	していない
外で元気に遊んでいますか。	65.1%	19.4%	10.7%

保護者アンケートより

学校は、基本的な生活習慣の確立へ向け、家庭へ呼びかけている。

「学校は、基本的な生活習慣の確立へ向け、家庭へ呼びかけている。」の項目について、「よくできている・大体できている」の回答割合は、87.5%でした。毎月の保健だよりでの呼びかけや保健指導、長期休業明けの生活リズム点検や学年・学級でのおたよりでの呼びかけなどで継続して基本的な生活習慣について指導しています。学校からの呼びかけや指導に対して、家庭でも規則正しい生活習慣の確立に取り組んでいただいている結果と考えています。基本的な生活習慣の確立が、学力向上と関係があることもわかっています。今後も、規則正しい生活の確立に向けて、学校と家庭が協力して取組を進めたいと考えています。

たてわり活動は、子どもたちの学校生活を楽しいものにしている。

昨年度から、七条小学校では「たてわり活動」に取り組んでいます。たてわりグループをつくり、七条小ラリーやなかよしの日の遊びなどに取り組んでいます。たてわりグループでの6年生が自己有用感をもてるよう始めた取組ですが、他の学年の子どもたちも他の学年の友だちとの関わりを楽しんでいるようです。保護者アンケートでその項目の割合が高いということは、子どもたちが家庭でたてわり活動の楽しさを話しているからと考えています。学校では、たてわりグループでの活動内容を模索中です。よりよいたてわり活動になるよう取組を進めていきます。

保護者の方からのご意見

- ・マンション内は生活する場所であり、子どもたちが遊ぶ場ではありません。公園で遊ぶように伝えていただきたいです。
- ・地域の公園でボール遊びなどができるようにしてほしいです。結局、道路などで遊んでいて事故になりました。小さい子がいたら気を付けるなどのルールにしてほしい。子どもの遊び場所がないです。
- ・子どもたちだけで集団で帰宅する時、遊びながら立ち止まったりして危ないことがある。学校で注意されていると思いますが、子どもたちだけでは守られていないと思う。主に低学年である。
- ・下校時は、友だちとふざけ合って、信号待ちのマナーが悪いです。PTAや見守り方が注意しても無視。事故がないのが不思議なくらいです。
- ・英語学習が始まる前不安がっていましたが、始まると楽しい～と家でも歌を歌ったり単語を言ったりし、英語を楽しいものとして受け入れていてよかったです。
- ・薬物乱用教育、SNS、ネット関係、性教育など伝える際は難しいと思いますが、積極的に教育していくべきだと思います。
- ・情報モラルの取組は、これから子どもたちが生活していく上で必要になるものなので、とてもよいと思いました。大人にも参考になるので、自由参観で授業を見ることができてよかったです。

外国語活動や情報モラル学習など、今年度より新しく始めた取組に対して評価していただけたと感じます。後期も、楽しく身に付く外国語活動、今後に活きる情報モラル学習に取り組んでいきたいと考えています。

また、ルールやマナーについてのご意見もいただきました。校内や登下校時の子どもたちの行動について、安全面や道徳面での指導が必要です。ルールやマナーを守る態度は何度も繰り返し教えていく中で身に付いていきます。子どもたちが、自分の行動をふり返り、これからどうすればよいのか考えていけるよう、学校と家庭の両方からの関わりが必要です。公園や道路での遊び方について、学校ではマナー・安全指導します。しかし、子どもたちの安全や条例（法律）遵守については、ご家庭でも十分に話し合っていただきたいと考えています。

保護者アンケート結果

実現度				
よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	わからない
16.1%	70.1%	6.8%	0.9%	6.1%
21.0%	66.1%	4.1%	0.7%	8.1%
14.9%	60.9%	15.6%	0.7%	7.9%
11.6%	45.5%	31.6%	10.7%	0.7%
8.4%	58.4%	10.6%	0.5%	22.2%
8.0%	52.0%	10.7%	1.4%	28.0%
14.5%	54.4%	12.0%	1.4%	17.7%
7.0%	48.9%	9.5%	1.4%	33.2%
15.7%	63.2%	9.1%	2.3%	9.8%
14.0%	67.7%	5.9%	0.7%	11.7%
12.4%	66.5%	9.3%	0.7%	11.1%
31.0%	56.3%	4.5%	0.9%	7.2%
19.1%	68.4%	6.8%	0.7%	5.0%
16.6%	61.7%	13.4%	1.8%	6.6%
14.8%	63.4%	8.4%	0.0%	13.4%
15.3%	67.2%	6.8%	0.7%	10.0%

学校評価委員会より

- ・低学年児童が門で立っているPTAの人の言うことを聞く。先生が立ってくれていると子どもは言うことを聞く。地域の誰に注意されても自分の行動を改善していく。謝れる子どもたちを育てていかなければいけない。
- ・運動会が秋になってよかった。クラスの人間関係が出来上がってから取り組めるよさがある。子どもたちが運動会を楽しんでできた。家庭でもよく運動会の話をすることになった。
- ・宿題（家庭学習）にどれくらい時間がかかったか、宿題に記入できるようにしておくと、担任や親が「わかっている」「わかっていない」を把握できる。
- ・（宿題は必要ないという意見に対して）やるべきことをやるという観点でも家庭学習必要。
- ・交通安全の視点から、黄帽の着用は導入できないか。

学校運営協議会より

- ・交通対策協議会から、黄帽の費用の補助をさせていただきたい。他校で学校の帽子を着用している学校がある。
- ・見守り隊は、見守りに適した子どもとの距離を置いて見守り活動をしていく必要がある。子どもと話したりして周囲で危険な場面を見かけたことがある。
- ・図書ボランティアの時、子どもたちがそうじを一生懸命しているのを見てすごいと思った。そらさんのはしごり方や掃きそうじの仕方などは学校で指導することが多い。
- ・公園でのボール遊びは、学校のルールというより、京都市の条例で決められているので、することができない。
- ・道路での遊びが危険だと言われるが、遊び場所がなく、今の子どもたちはかわいそうだと感じる。

学校評価を通していただいたたくさんのご意見を活かし、地域や保護者の皆様のご協力を土台にして、後期もよりよい学校づくりにチャレンジしていきます。よろしくお願ひいたします。